

2016

京都開催の国際会議

2016.1.1~2016.12.31

平成 29 年 6 月発行

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

INDEX

はじめに	01
本国際会議統計に関して	02
〔1〕 2016年に京都で開催された国際会議<概要>	03
1 京都市域	03
2 京都府域（京都市域を除く）	03
〔2〕 2016年に京都で開催された国際会議<詳細>	04
1 京都市域内開催分	
〔1〕 年別 開催実績	04
〔2〕 会場別 開催実績（上位）	04
〔3〕 主要都市 開催件数	04
〔4〕 月別実績表	05
〔5〕 過去の月別 開催件数（京都市域分 / 全国）	05
〔6〕 総参加者数別 会議開催件数	06
〔7〕 海外参加者数別 会議開催件数	06
〔8〕 国内参加者数別 会議開催件数	06
〔9〕 参加国数別 会議開催件数	07
〔10〕 開催日数別 会議開催件数	07
〔11〕 分野別 会議開催件数・構成比	07
2 京都府域内開催分（京都市域を除く）	07
〔3〕 国際統計との比較	08
〔4〕 総参加者が1,000人以上または、 海外参加者が200人以上の国際会議（57件 / 会期順）	09
各種助成金制度のご案内	14
MICE サポートサービスのご案内	15
京都文化交流コンベンションビューロー主な事業内容	16
京都文化交流コンベンションビューロー概要	17

はじめに

2013年6月に京都が、日本の MICE 誘致をけん引する「グローバル MICE 戦略都市」に観光庁から選定され、更に2014年10月に策定された「京都市 MICE 戦略 2020」に則り、これまで京都府・京都市・京都商工会議所とともに、オール京都体制で積極的に MICE 誘致を進めて参りました。

また、2016年6月にアジアの都市として初めてグローバル・デスティネーション・サステナビリティ・インデックス(GDS(Global Destination Sustainability)-Index)に、京都市が参画し、GDS-Index との連携を通じて、更に環境に配慮した取組を行うとともに、京都の文化を取り入れたサステナブルな会議の開催を MICE 主催者とともに進めてきたところです。

こうした中、2016年に開催された国際会議の件数は、京都市域・府域ともに過去最高となりました。加えて、新たに京都府助成金制度を新設するなど、多種多様な MICE 支援を実施し、アジアで初めての開催となる「世界パーキンソン病学会」や「社会経済学発展学会」等、数年先の開催となる、10件を超える大規模会議の誘致に新規に成功いたしました。

2017年も引き続き、京都府・京都市・京都商工会議所をはじめ、国立京都国際会館、京都府警、各大学などステークホルダーの皆様との連携を更に強化するとともに、2016年に続き新しい支援制度の開設、誘致スタッフの増員など、より一層 MICE 誘致に向けて努力して参ります。

本統計は、2016年(1～12月)に京都で開催された国際会議の開催実績であり、是非ご高覧いただきましたうえ、京都における国際会議開催の現況についてご理解を深めていただければ幸いです。

最後に、本統計の作成にあたり各方面の関係者の皆様方より多大なるご理解とご協力を頂きましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 6 月

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

本国際会議統計に関して

◆ 本統計は2016年(1～12月)に、京都市域内で開催された国際会議と京都市域を除く京都府域で開催された国際会議の2区分を記載しています。

統計収集にあたっては(公財)京都文化交流コンベンションビューローが京都の各会議施設・大学・研究機関・各種団体並びに会議主催者のご協力を得て作成しました。

◆ 本統計における分析項目は日本政府観光局(JNTO)から発表された「2015年国際会議統計」と「2015年の京都市域で開催された国際会議データ」も参考にしています。

◆ 国際会議統計基準について

国際会議統計に関しては、主に

- ① JNTO (日本政府観光局)
- ② ICCA (国際会議協会：International Congress & Convention Association)
- ③ UIA (国際団体連合：Union of International Associations)

から発表される統計数値が参考にされるケースが国内では一般的です。

一方でその統計手法や基準が各々異なるため必ずしも単純に比較できないことに留意しながら各データを活用する必要があります。

団 体	国際会議基準(抜粋)
JNTO (日本政府観光局)	以下の①～④の全てを満たす会議 ① 主催者：「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数：50人以上 ③ 参加国：日本を含む3カ国以上 ④ 開催期間：1日以上
ICCA (国際会議協会： International Congress & Convention Association)	①開催国について：3カ国以上での持ち回りの開催実績がある会議 (2カ国間会議は除外) ②参加者総数：50人以上 ③開催期間：定期的に開催している(1回のみ開催した会議は除外)
UIA (国際団体連合： Union of International Associations)	(1) 国際機関・国際団体(UIAに登録されている機関・団体)の本部が主催又は後援した会議 ①参加者数：50人以上 ②参加国数：開催国を含む3カ国以上 ③開催期間：1日以上 又は (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議 ①開催国以外からの参加者(外国人比率)が少なくとも総参加者の40% ②参加者総数：300人以上 ③参加国数：5カ国以上 ④開催期間：3日以上

1 2016年に京都で開催された国際会議 < 概要 >

2016年に開催された国際会議の件数は、京都市域・府域ともに、過去最高となった。

京都市域では、件数・参加者数それぞれ過去最高を記録し、特に海外参加者数が前年より54%増となった。「国際美容外科学会」など、海外参加者1,000人以上の会議が3件開催されるなど、海外参加者500人以上の会議が前年より10件増加した。

京都府域では、大規模会議の開催により、国内参加者数が前年の約2倍と大幅増となった。

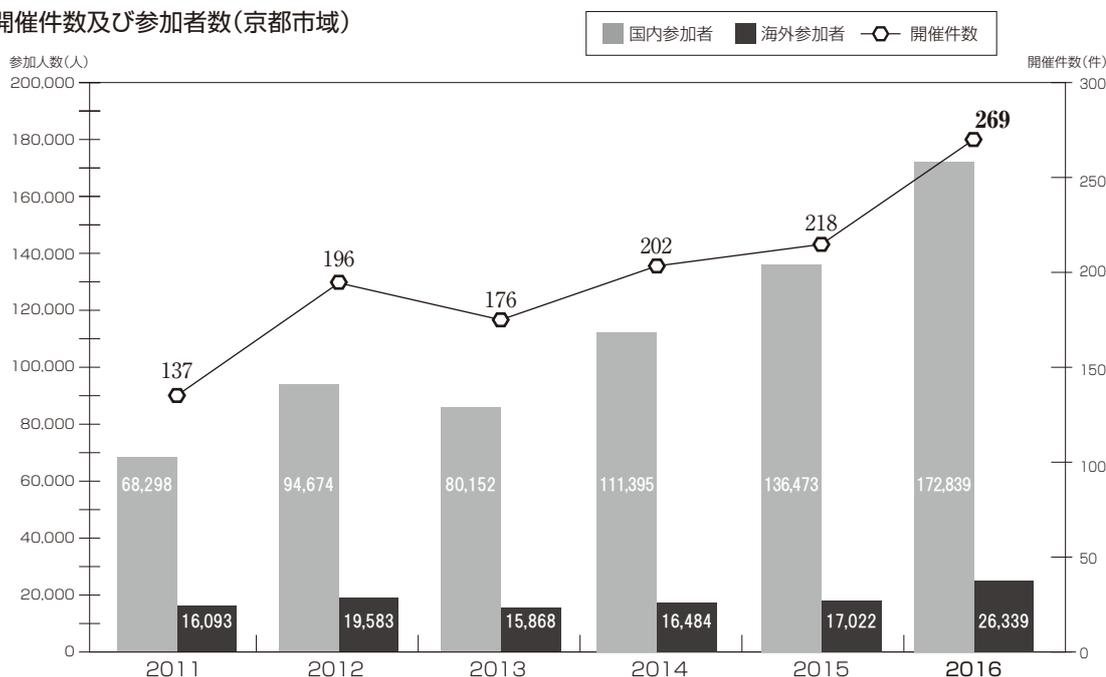
また、国際機関(ICCA)の統計においても、世界44位、開催件数58件を記録し、過去最高であった2012年の61件に次ぐ件数となった。これまでの最高である2012年は、東日本大震災後で関東エリアの開催が減少したことも要因として考えられ、今回はそうした影響のない中で、過去最高に迫る件数を開催することができた。

これまで、2013年より観光庁から「グローバル MICE 戦略都市」に指定され、様々な指導を受けるとともに、助成金制度の大幅改正、大学との連携など、MICE 誘致強化に努めてきたところである。

1 京都市域

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	前年比
開催件数	137件	196件	176件	202件	218件	269件	123.4%
海外参加者数	16,093人	19,583人	15,868人	16,484人	17,022人	26,339人	154.7%
国内参加者数	68,298人	94,674人	80,152人	111,395人	136,473人	172,839人	126.6%
総参加者数	84,391人	114,257人	96,020人	127,879人	153,495人	199,178人	129.8%

■ 年別開催件数及び参加者数(京都市域)



2 京都府域 (京都市域を除く)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	前年比
開催件数	9件	6件	3件	10件	13件	14件	107.7%
海外参加者数	256人	206人	381人	383人	1,374人	1,323人	96.3%
国内参加者数	493人	1,013人	6,574人	2,916人	9,082人	18,438人	203.0%
総参加者数	749人	1,219人	6,955人	3,299人	10,456人	19,761人	189.0%

2 2016年に京都で開催された国際会議 < 詳細 >

1 京都市域内開催分

〔1〕年別 開催実績

2016年は過去最高の件数を更新した。また、総参加者数、海外参加者数ともに過去最高を記録し、総参加者数は前年より45,683名の増加となった。総参加者数15,000人の「日本糖尿病学会」の開催をはじめ、2,000人以上が参加した会議が6件増となり、大規模会議が増加したことによるものである。

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
開催件数	183	171	164	155	137	196	176	202	218	269
総参加者数	68,723	65,200	107,347	107,643	84,391	114,257	96,020	127,879	153,495	199,178
海外参加者数	16,145	11,966	12,941	16,363	16,093	19,583	15,868	16,484	17,022	26,339

〔2〕会場別 開催件数 (上位)

開催件数は京都大学と国立京都国際会館が引き続き1位、2位となった。京都大学での開催が22件増加し、他大学も含めると、大学での開催件数が147件と全体の54.6%を占める。国立京都国際会館では、大規模会議の開催で総参加者数も前年より37,867人の増加となり、過去最高となった。

その他、開催件数を伸ばした施設が多く、特に海外参加者が前年より増加している施設が多く見られるなど、会議の国際化が進んでいる傾向にある。

施設名	開催件数	前年	海外参加者数	国内参加者数	総参加者数	平均参加国数
京都大学(百周年時計台記念館、数理解析研究所、基礎物理学研究所、芝蘭会館等を含む)	103	81	3,205	11,097	14,302	7.9
国立京都国際会館	47	36	10,918	130,733	141,651	21.1
立命館大学	13	10	378	774	1,152	5.5
京都市国際交流会館	12	4	1,037	4,358	5,395	8.9
同志社大学	11	5	3,187	2,291	5,478	15.7
京都テルサ	10	8	1,476	3,251	4,727	16.3
みやこめっせ	9	9	2,441	22,336	24,777	17.2
ウェスティン都ホテル京都	8	7	985	2,332	3,317	22.8
京都工芸繊維大学	8	1	278	1,445	1,723	6.1
京都リサーチパーク	8	7	816	904	1,720	9.6

※複数の会場(施設)で開催されている場合は、開催件数を各施設1件ずつ計上している。

〔3〕主要都市 開催件数

	京 都	東 京	横 浜	名古屋	大 阪	神 戸	福 岡
2006年	154 (2)	460 (1)	103 (6)	109 (5)	111 (4)	76 (7)	126 (3)
2007年	183 (2)	440 (1)	157 (3)	109 (5)	76 (8)	89 (6)	151 (4)
2008年	171 (4)	480 (1)	184 (2)	130 (5)	77 (8)	94 (6)	172 (3)
2009年	164 (4)	497 (1)	179 (3)	124 (5)	94 (6)	76 (8)	206 (2)
2010年	155 (4)	491 (1)	174 (3)	122 (5)	69 (9)	91 (6)	216 (2)
2011年	137 (4)	470 (1)	169 (3)	112 (5)	72 (8)	83 (6)	221 (2)
2012年	196 (3)	500 (1)	191 (4)	126 (6)	140 (5)	92 (8)	252 (2)
2013年	176 (4)	531 (1)	226 (3)	143 (6)	172 (5)	93 (8)	253 (2)
2014年	202 (3)	543 (1)	200 (4)	163 (5)	130 (6)	82 (9)	336 (2)
2015年	218 (4)	557 (1)	190 (5)	178 (6)	139 (7)	113 (8)	363 (2)
2016年	269	—	—	—	—	—	—

※「日本政府観光局(JNTO) 2015年国際会議統計」より。

※()内は全国順位。

※2016年の各都市の開催件数は現在未公表。

2 2016年京都で開催された国際会議 < 詳細 >

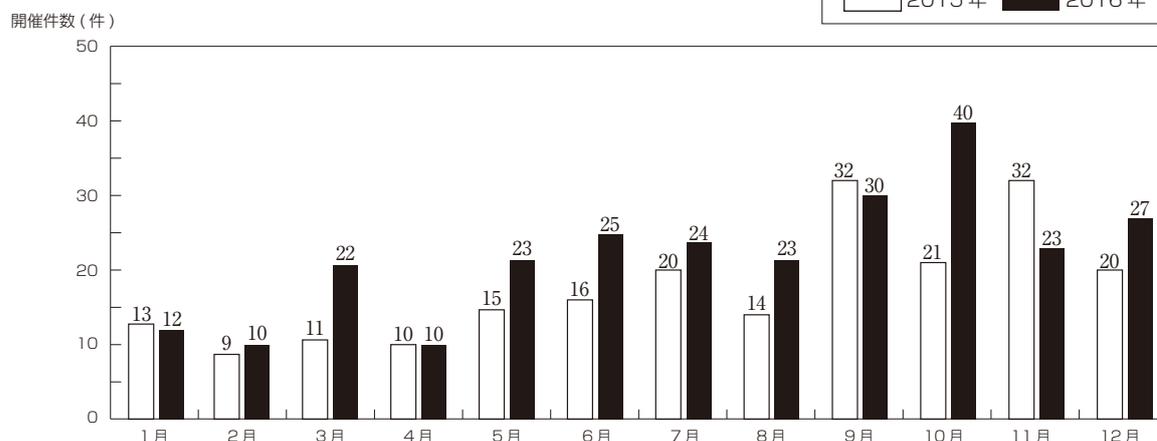
〔4〕月別実績表

学会シーズンといわれる秋期で、10月は増えたが、2015年の月別で最も高かった9月、11月が減少に転じ、また、オフシーズンである12月、2月の冬期や、6月、7月、8月の夏期で大きく増加した。

これは、開催補助金の決定に当たってオフシーズンに手厚く配分するなど、開催時期の平準化に努めてきた効果が現れてきている。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
開催件数	12	10	22	10	23	25	24	23	30	40	23	27	269	22
割合(%)	4.5%	3.7%	8.2%	3.7%	8.6%	9.3%	8.9%	8.6%	11.2%	14.9%	8.6%	10.0%		
海外参加者数	354	163	1,771	1,508	1,300	3,231	1,734	5,547	2,042	6,053	1,793	843	26,339	2,195
国内参加者数	14,963	8,561	3,998	22,997	25,848	36,428	3,276	5,176	14,965	12,152	20,716	3,759	172,839	14,403
参加者総数	15,317	8,724	5,769	24,505	27,148	39,659	5,010	10,723	17,007	18,205	22,509	4,602	199,178	16,598
平均参加国数	6.2	7.4	6.7	16.3	8.2	16.8	9.3	16.1	11.1	19.3	10.9	7.7	11.3	

■ 2016年および2015年開催件数(京都市域分)



〔5〕過去の月別開催件数(京都市域分 / 全国)

1)過去の開催件数：京都市域分

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
京都市域分	2013年	8	8	17	15	12	21	17	10	13	25	18	13	177	15
		4.5%	4.5%	9.6%	8.5%	6.8%	11.9%	9.6%	5.6%	7.3%	14.1%	10.2%	7.3%		
	2014年	6	15	21	15	22	17	16	12	27	10	26	16	203	17
	3.0%	7.4%	10.3%	7.4%	10.8%	8.4%	7.9%	5.9%	13.3%	4.9%	12.8%	7.9%			
	2015年	13	9	11	10	15	16	20	14	32	21	32	20	213	18
	6.1%	4.2%	5.2%	4.7%	7.0%	7.5%	9.4%	6.6%	15.0%	9.9%	15.0%	9.4%			

※合計がP4の(1)年別開催実績の同年の数値と異なるのは、KCVB調べとJNTO調べの誤差の範囲であり、傾向には影響を与えない。

2)過去の開催件数：全国

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
全国	2013年	129	167	227	126	191	261	190	153	243	297	319	124	2,427	202
		5.3%	6.9%	9.4%	5.2%	7.9%	10.8%	7.8%	6.3%	10.0%	12.2%	13.1%	5.1%		
	2014年	111	197	233	126	170	210	247	163	308	292	360	173	2,590	216
	4.3%	7.6%	9.0%	4.9%	6.6%	8.1%	9.5%	6.3%	11.9%	11.3%	13.9%	6.7%			
	2015年	136	175	391	119	207	235	218	163	321	339	372	171	2,847	237
	4.8%	6.1%	13.7%	4.2%	7.3%	8.3%	7.7%	5.7%	11.3%	11.9%	13.1%	6.0%			

※「日本政府観光局(JNTO)2015年国際会議統計」より。

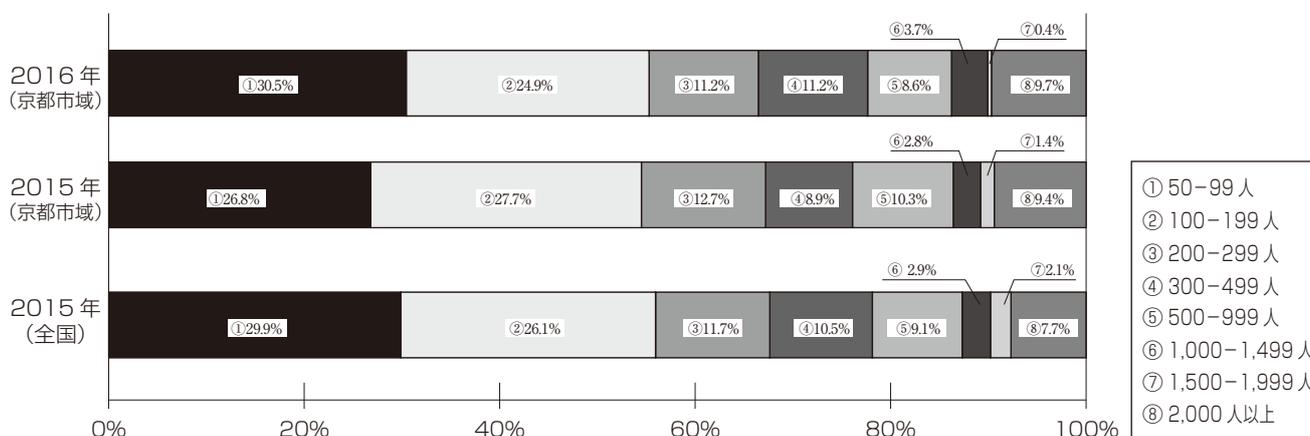
2 2016年京都で開催された国際会議 < 詳細 >

〔6〕総参加者数別 会議開催件数

100人未満の会議が前年より25件増加するなど、500人未満の小中規模会議が全体の約77%を占めた。この傾向は前年と変わらないが、2016年の大きな特徴は、参加者2,000人以上の開催件数が前年より6件増加したことであり、京都の大規模会議の開催割合は全国よりも高い水準にある。

参加者数	50-99人	100-199人	200-299人	300-499人	500-999人	1,000-1,499人	1,500-1,999人	2,000人以上	
2016年	82	67	30	30	23	10	1	26	
割合(%)	30.5%	24.9%	11.2%	11.2%	8.6%	3.7%	0.4%	9.7%	
2015年	57	59	27	19	22	6	3	20	
割合(%)	26.8%	27.7%	12.7%	8.9%	10.3%	2.8%	1.4%	9.4%	
全 国	2015年	850	743	334	298	260	83	61	218
	割合(%)	29.9%	26.1%	11.7%	10.5%	9.1%	2.9%	2.1%	7.7%
国	2014年	694	726	358	280	202	88	50	192
	割合(%)	26.8%	28.0%	13.8%	10.8%	7.9%	3.4%	2.0%	7.4%

※2015年数値は、「2015 京都開催の国際会議冊子」より。※全国数値は、「日本政府観光局(JNTO)2015年国際会議統計」より。



〔7〕海外参加者数別 会議開催件数

500人以上の会議が前年より10件増加するなど、海外参加者数が前年より54.7%増(9,317人増)と過去最高を記録した。特に、海外参加者数2,000人の「国際美容外科学会」や、海外参加者数1,700人の「世界考古学会」は海外参加比率が80%を超えるなど、海外参加者数の多い大規模会議が多数開催された。

参加者数	1-9人	10-49人	50-99人	100-199人	200-299人	300-499人	500-999人	1,000人以上
2016年	80	92	31	32	10	10	11	3
割合(%)	29.7%	34.2%	11.5%	11.9%	3.7%	3.7%	4.1%	1.1%
2015年	52	80	26	30	13	8	4	0
割合(%)	24.4%	37.6%	12.2%	14.1%	6.1%	3.8%	1.9%	0.0%

※2015年数値は、「2015 京都開催の国際会議冊子」より。

〔8〕国内参加者数別 会議開催件数

500人未満の小・中規模会議が前年より54件増加し、全体の84.8%を占めている一方、医学系大規模会議など、2,000人以上の会議が4件増加したことにより、全体の参加人数の増加につながった。

参加者数	1-9人	10-49人	50-99人	100-199人	200-299人	300-499人	500-999人	1,000-1,499人	1,500-1,999人	2,000人以上
2016年	0	52	74	53	23	26	13	3	4	21
割合(%)	0.0%	19.3%	27.5%	19.7%	8.6%	9.7%	4.8%	1.1%	1.5%	7.8%
2015年	1	34	60	48	16	15	15	3	4	17
割合(%)	0.5%	16.0%	28.2%	22.5%	7.5%	7.0%	7.0%	1.4%	1.9%	8.0%

※2015年数値は、「2015 京都開催の国際会議冊子」より。

〔9〕参加国数別 会議開催件数

参加国数が20カ国以上の会議が12件増加し、参加国数が多いものでは112カ国からの参加があった。海外参加者数が過去最高となったが、参加国も多国籍にわたっている。

参加国数	3-5カ国	6-9カ国	10-14カ国	15-19カ国	20-29カ国	30-49カ国	50カ国以上
2016年	116	44	41	26	20	15	7
割合(%)	43.1%	16.4%	15.2%	9.7%	7.4%	5.6%	2.6%
2015年	93	45	28	17	18	7	5
割合(%)	43.7%	21.1%	13.1%	8.0%	8.5%	3.3%	2.3%

※2015年数値は、「2015 京都開催の国際会議冊子」より。

〔10〕開催日数別 会議開催件数

1日開催が件数で見ると前年とあまり差はないが、シェアが18.6%と前年より下がっているため、2日以上の宿泊を伴う会議が増加したことがわかる。本年の国際会議の開催日数の増加は、会議参加者の宿泊滞在日数の増加に繋がり、京都域内における直接的な経済効果に貢献したといえる。

開催日数	1日	2日	3日	4日	5日	6-7日	8日以上
2016年	50	62	79	34	26	12	6
割合(%)	18.6%	23.0%	29.4%	12.6%	9.7%	4.5%	2.2%
2015年	49	44	56	28	22	5	9
割合(%)	23.0%	20.7%	26.3%	13.1%	10.3%	2.3%	4.2%

※2015年数値は、「2015 京都開催の国際会議冊子」より。

〔11〕分野別 会議開催件数・構成比

「科学・技術・自然」が全体の半分を占め、2015年に引き続き同じ傾向となった。この分野は、例年通り全国と比較しても割合が高く、この分野における京都の存在が高いといえる。

分野	2016年		2015年		全 国	
	開催件数	割合(%)	開催件数	割合(%)	2014年	2015年
科学・技術・自然	137	50.9%	101	47.4%	41.9%	42.9%
医学	56	20.8%	40	18.8%	18.6%	19.2%
芸術・文化・教育	27	10.0%	39	18.3%	13.3%	11.8%
社会	17	6.3%	9	4.2%	4.3%	6.8%
政治・経済・法律	14	5.2%	14	6.6%	11.2%	8.7%
産業	11	4.1%	6	2.8%	6.1%	4.5%
社交・親善	4	1.5%	4	1.9%	1.8%	2.5%
宗教	2	0.7%	0	0.0%	0.2%	0.2%
スポーツ	1	0.4%	0	0.0%	0.2%	0.7%
運輸・観光	0	0.0%	0	0.0%	0.7%	0.8%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1.6%	1.8%

※2015年数値は、「2015 京都開催の国際会議冊子」より。※全国数値は、「日本政府観光局(JNTO)2015年国際会議統計」より。

2 京都府域内開催分(京都市域除く)

開催件数は、過去最高の14件となった。総参加者数も、大規模会議の開催により過去最高を記録した。2016年より開始した「京都府 MICE 助成金制度」新設など、京都府域で開催される国際会議の支援強化に努めてきた結果である。

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	前年比
開催件数	9件	6件	3件	10件	13件	14件	107.7%
海外参加者数	256人	206人	381人	383人	1,374人	1,323人	96.3%
国内参加者数	493人	1,013人	6,574人	2,916人	9,082人	18,438人	203.0%
総参加者数	749人	1,219人	6,955人	3,299人	10,456人	19,761人	189.0%

3 国際統計との比較

1 ICCA 統計 (2016 年) での各都市ランキング

京都は 58 件で世界 44 位を記録し、前年より 13 件、13 位アップとなった。これは東日本大震災後、関東エリアでの開催が減少した 2012 年に続き、過去 2 番目となる件数である。

日本国内では、大阪、神戸の開催件数が増えたことにより、関西 3 都市と関東との差が縮まってきた結果となった。

世界ランキングでは、欧州での開催が上位 10 位中 8 都市を占めるが、前年よりパリ、ウィーン、アムステルダムなどの件数が増加した一方、ベルリン、ロンドン、マドリードが約 20 ~ 30 件落としており、二極化された。

また、前年 8 位だったイスタンブールが 39 位と順位を落とす結果となった。これは、国際空港テロなどの影響が大きいといえる。

<国内都市上位ランキング及び世界ランキング>

都市名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2016年 国内順位
東京	50 (41位)	69 (31位)	79 (26位)	90 (22位)	80 (28位)	95 (21位)	1
京都	29 (69位)	61 (36位)	43 (55位)	47 (54位)	45 (57位)	58 (44位)	2
大阪	19 (109位)	11 (207位)	20 (117位)	10 (222位)	23 (115位)	25 (100位)	3
福岡	19 (109位)	23 (97位)	12 (193位)	15 (164位)	30 (85位)	23 (111位)	4
神戸	14 (150位)	22 (100位)	18 (136位)	15 (164位)	13 (191位)	21 (120位)	5
横浜	16 (132位)	18 (125位)	17 (148位)	18 (134位)	22 (117位)	21 (120位)	5
札幌	7 (273位)	16 (142位)	13 (182位)	19 (125位)	18 (139位)	17 (152位)	7
名古屋	-	11 (207位)	15 (159位)	11 (208位)	14 (182位)	16 (160位)	8
仙台	-	6 (319位)	5 (371位)	6 (318位)	9 (254位)	13 (203位)	9
広島	-	9 (241位)	7 (294位)	5 (354位)	-	9 (279位)	10
新潟	-	5 (362位)	7 (294位)	-	-	5 (392位)	11
富山	-	-	-	-	-	5 (392位)	11

※ 上段：件数、下段：世界順位

※ 上記の数値及び順位は、各当該年の発表時の数値及び順位を掲載している。また統計基準は、ICCA が設定する統計基準に基づいている。(基準の詳細は P2 を参照)

<2016 年世界都市上位 10 位ランキング>

順位	都市名	開催件数	2015年 開催件数と順位
1	パリ	196	186 (2)
2	ウィーン	186	178 (4)
3	バルセロナ	181	180 (3)
4	ベルリン	176	195 (1)
5	ロンドン	153	171 (5)
6	シンガポール	151	156 (7)
7	アムステルダム	144	120 (12)
7	マドリード	144	171 (5)
9	リスボン	138	145 (9)
10	ソウル	137	117 (13)

<2016 年アジア・オセアニア・中近東地域都市上位 15 位ランキング>

順位	都市名	開催件数	2015年 開催件数と順位
1	シンガポール	151	156 (1)
2	ソウル	137	117 (2)
3	バンコク	121	103 (4)
4	北京	113	95 (5)
5	香港	99	112 (3)
6	東京	95	80 (8)
7	台北	83	90 (6)
8	上海	79	55 (11)
9	クアラルンプール	68	73 (9)
10	シドニー	61	86 (7)
11	京都	58	45 (13)
11	メルボルン	58	54 (12)
13	ドバイ	52	56 (10)
14	マニラ	46	41 (14)
15	パリ	43	40 (16)

2 UIA 統計 (2015 年) での各都市ランキング (2016 年統計は現在未公表)

<2015 年世界都市上位 10 位ランキング>

順位	都市名	開催件数
1	シンガポール	736
2	ブリュッセル	665
3	ソウル	494
4	パリ	362
5	ウィーン	308
6	東京	249
7	バンコク	242
8	ベルリン	215
9	バルセロナ	187
10	ジュネーブ	172

※ 上記の数値は、UIA が設定する統計基準に基づいたデータを、日本政府観光局 (JNTO) が順位付けしたものと異なる。(基準の詳細は P2 を参照)

<2015 年国内都市上位ランキング>

順位		都市名	開催件数
世界	国内		
6	1	東京	249
34	2	京都	56
52	3	神戸	35
57	4	大阪	33
61	5	横浜	31
83	6	名古屋	22
93	7	仙台	20
98	8	札幌	19

※ 順位は判明している都市の順位のみを記載。

4

総参加者が 1,000 人以上または、 海外参加者が 200 人以上の国際会議(57 件 / 会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
1/21 ~ 1/24	公益社団法人日本青年会議所 2016 年度京都会議 Junior Chamber International Japan Kyoto Conference 2016	8	50	13,950	14,000	国立京都国際会館
2/19 ~ 2/20	第31回日本環境感染学会総会・学術集会 The 31st Annual Meeting of Japanese Society for Infection Prevention and Control	5	10	7,790	7,800	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
3/3 ~ 3/6	アジア腫瘍会議 8th Annual Asian Oncology Summit 12th Annual Conference of the OOTR Kyoto Breast Cancer Consensus Conference 2016	3	400	200	600	ウェスティン都ホテル京都、 京都市国際交流会館
3/19 ~ 3/21	第 28 回全国ローターアクト研修会並びに 第 13 回アジア太平洋地域ローターアクト会議 The 28th National Rotaract Conference of Japan And The 13th Asia Pacific Regional Rotaract Conference	15	700	700	1,400	国立京都国際会館
3/29 ~ 3/31	The Joint Conference of ACEAIT, GLSBE, ISFAS, ICBASS & ISEPST	15	300	10	310	京都リサーチパーク
4/3	国際ロータリー第2650地区 2015~16年度地区大会	3	3	1,997	2,000	ロームシアター京都、 みやこめっせ
4/3 ~ 4/7	第 13 回国際人類遺伝学会 The 13th International Congress of Human Genetics (ICHG2016)	63	1,000	2,000	3,000	国立京都国際会館
4/8 ~ 4/10	第 56 回日本呼吸器学会学術講演会 The 56th Annual Meeting of the Japanese Respiratory Society	31	100	7,400	7,500	国立京都国際会館
4/21 ~ 4/23	第 89 回日本内分泌学会学術総会 The 89th Annual Meeting of the Japan Endocrine Society	4	6	3,026	3,032	国立京都国際会館
4/25~4/26	国際ソプロチミストアメリカ日本中央リジョン 第 30 リジョン大会及び 2015 年度分科会 The 30th Regional Conference of Japan Chuo Region Soroptimist International of the Americas Inc and workshop	3	4	3,500	3,504	国立京都国際会館
4/28 ~ 4/30	第64回日本輸血・細胞治療学会総会 The 64th Annual Meeting of the Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy	6	5	2,995	3,000	国立京都国際会館

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(57件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
5/12 ~ 5/13	第33回日本呼吸器外科学会総会 The 33rd Annual Meeting of the Japanese Association for Chest Surgery	6	100	2,100	2,200	国立京都国際会館
5/19 ~ 5/21	第59回日本糖尿病学会年次学術集会 The 59th Annual Meeting of the Japan Diabetes Society	11	50	14,950	15,000	国立京都国際会館、 ロームシアター京都、 みやこめっせ
5/23 ~ 6/24	滞在型研究会「超弦理論と量子多体系における量子情報」 Quantum Information in String Theory and Many-body Systems	14	211	157	368	京都大学 基礎物理学研究所
5/27 ~ 5/29	Ultrasonic Week 2016	13	200	5,800	6,000	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
6/1 ~ 6/3	京都スマートシティエキスポ 2016 KYOTO SMART CITY EXPO 2016	28	460	9,740	10,200	国立京都国際会館、 けいはんなオープン イノベーションセンター(KICK)
6/3 ~ 6/5	第115回日本皮膚科学会総会 The 115th Annual Meeting of the Japanese Dermatological Association	11	50	5,950	6,000	国立京都国際会館
6/9 ~ 6/11	第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 The 53rd Annual Meeting of the Japanese Association of Rehabilitation Medicine	12	27	7,273	7,300	国立京都国際会館
6/15 ~ 6/17	第68回日本細胞生物学会大会 第11回年回日本ケミカルバイオロジー学会 The 68th Annual Meeting of Japan Society for Cell Biology The 11th Annual Meeting of Japanese Society for Chemical Biology	4	7	1,193	1,200	京都テルサ
6/17 ~ 6/18	第21回日本緩和医療学会学術大会 The 21st Congress of the Japanese Society for Palliative Medicine	6	7	7,500	7,507	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
6/24 ~ 6/26	第31回日本白内障屈折矯正手術学会学術総会(JSCRS) The 31st Annual Meeting of the Japanese Society of Cataract and Refractive Surgery	6	6	1,698	1,704	国立京都国際会館
6/24 ~ 6/27	AAS-in-ASIA Conferences@Doshisha 2016	40	869	346	1,215	同志社大学 今出川キャンパス

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(57件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
6/28～7/2	The 21st Annual Meeting of the RNA Society	34	841	361	1,202	国立京都国際会館
6/30～7/1	第92回 OECD 租税委員会本会合・運営会合 92nd Meeting of the Committee on Fiscal Affairs / Bureau and Bureau Plus of the Committee on Fiscal Affairs	101	223	14	237	ウェスティン都ホテル京都
7/7～7/9	The 4th Annual Meeting of Asian Organization for Crohn's & Colitis (AOCC)	15	400	400	800	国立京都国際会館
7/10～7/15	第20回均一系触媒国際会議 20th International Symposium on Homogeneous Catalysis	20	400	100	500	京都テルサ
7/12～7/14	LIS2016(図書館の電子化国際会議) International Conference on Library and Information Science (LIS2016)	34	310	30	340	京都市国際交流会館
8/1～8/5	第9回環太平洋先端材料とプロセッシング国際会議 9th Pacific Rim International Conference on Advanced Materials and Processing (PRICM9)	12	700	600	1,300	国立京都国際会館
8/8～8/13	第17回国際レオロジー学会 International Conference on Rheology	15	450	300	750	京都テルサ
8/9～8/13	計量経済学会アジア大会 The Asian Meeting of the Econometric Society	20	550	150	700	同志社大学 今出川キャンパス
8/20～8/28	Kyoto Ram Katha	11	600	150	750	国立京都国際会館
8/21～8/26	第27回生体系磁気共鳴国際会議 27th International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems	40	500	300	800	国立京都国際会館
8/28～9/2	世界考古学会議 第8回京都大会 The Eighth World Archaeological Congress Kyoto	80	1,700	300	2,000	同志社大学 今出川キャンパス

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(57件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
8/28～9/2	第20回国際分析心理学会 The XXth International Congress for Analytical Psychology	76	650	350	1,000	国立京都国際会館
9/8～9/10	Ruby Kaigi 2016	30	300	650	950	国立京都国際会館
9/10～9/11	国際協カステーション 2016	15	100	2,690	2,790	京都府国際センター
9/12～9/16	第11回国際極限環境生物学会 11th International Congress on Extremophiles	28	205	194	399	京都大学 百周年時計台記念館
9/17～9/19	第26回日本医療薬学会年会 The 26th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences	6	50	8,250	8,300	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
9/19～9/24	The XVIIth Internaitonal Symposium on Retinal Degeneration	11	350	50	400	国立京都国際会館
9/26～9/29	第28回汎太平洋不動産鑑定士・カウンセラー会議 The 28th Pan Pacific Congress of Real Estate Appraisers, Valuers And Counselors	12	200	300	500	国立京都国際会館
10/2～10/4	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム)第13回年次総会 STS forum 2016, The 13th Annual Meeting	101	800	400	1,200	国立京都国際会館
10/11～10/15	第23回C型肝炎及び関連ウイルスに関する国際会議 23rd International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses	36	350	350	700	国立京都国際会館
10/17～10/22	第26回国際原子力機関核融合エネルギー会議 26th IAEA Fusion Energy Coference	49	700	500	1,200	国立京都国際会館
10/19～10/22	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム	3	200	1,800	2,000	ロームシアター京都、 みやこめッセ、武道センター、 妙心寺退蔵院、 京都文化博物館別館、 グランドハイアット京都 グランドホール、 六本木ヒルズ

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(57件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
10/21 ~ 10/22	第44回日本頭痛学会総会 The 44th Congress of The Japanese Headache Society	3	5	1,021	1,026	ウェスティン都ホテル京都
10/23 ~ 10/26	第40回国際外科学会世界総会 40th Biennial World Congress of the International College of Surgeons	112	500	2,500	3,000	国立京都国際会館
10/23 ~ 10/25	第23回国際美容外科学会議 23rd Congress of ISAPS	104	2,000	500	2,500	みやこめっせ
11/3 ~ 11/6	第70回日本臨床眼科学会総会 The 70th Annual Congress of Japan Clinical Ophthalmology	16	100	8,400	8,500	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
11/9 ~ 11/11	日本水道協会平成28年度全国会議	10	100	2,900	3,000	ロームシアター京都、 みやこめっせ、 京都市国際交流会館
11/10 ~ 11/12	第32回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ The 2016 Kyoto Prize Presenting Ceremony, Memorial Lectures, and Memorial Workshops	21	230	3,170	3,400	国立京都国際会館
11/22 ~ 11/24	The joint conference of ACEAT, LSBE, APSSC and ICEAP	16	270	15	285	京都リサーチパーク
11/25 ~ 11/27	日本放射線腫瘍学会第29回学術大会 The 29th Annual Meeting of the Japanese Society for Therapeutic Radiology and Oncology	16	117	2,503	2,620	国立京都国際会館
11/30 ~ 12/2	第10回国際ストレングストレーニング学会大会(ICST2016) 10th International Conference on Strength Training	35	200	150	350	龍谷大学 響都ホール校友会館
12/2 ~ 12/4	国際心筋症・心不全学会2016 International Congress on Cardiomyopathies and Heart Failure	18	200	300	500	国立京都国際会館
12/14 ~ 12/16	大学ICT推進協議会2016年度年次大会	3	8	1,297	1,305	国立京都国際会館

(注)上記のほか、2件は公開不可の為、記載を省略。

各種助成金制度のご案内

京都市助成金制度

大規模国際コンベンション 開催支援助成金

- [対象] 国際会議
- [対象経費] 大規模国際会議の開催に要する経費
- [助成金額上限] 1,000万円
- [会期] 3日以上開催
- [参加人数] 500名～上限なし
- [海外参加者要件] 3カ国以上、参加者のうち海外参加者 100名以上
- [申請時期] 開催地決定前にご相談ください

大規模国際コンベンション 誘致支援助成金

- [対象] 国際会議
- [対象経費] 広報宣伝、印刷製本、会場借上等の経費等
- [助成金額上限] 100万円
- [会期] 3日以上開催
- [参加人数] 500名～上限なし
- [海外参加者要件] 3カ国以上、参加者のうち海外参加者 100名以上
- [申請時期] 開催地決定前

中規模・小規模 MICE 開催支援助成金

- [対象] ミーティング、インセンティブ、国際・国内会議
- [対象経費] 小規模・中規模会議等の開催に要する経費
- [助成金額上限] 小規模：20万円、中規模：50万円
※開催時期、規模、期間等に応じて金額を決定
- [会期] 2日以上開催
- [参加人数] 小規模：50～199名
中規模(ミーティング、インセンティブ)：200名～上限なし
中規模(国際・国内会議)：200～499名
- [海外参加者要件] なし
- [申請時期] 開催予定日1箇月前

京都らしい MICE 開催支援補助制度

※国際案件のみ各種助成金との併用可能

- [対象] ミーティング、インセンティブ、国際・国内会議、同窓会*
(* 大学同窓会、企業 OB 会等)
- [対象経費] ((A)、(B)併用可能)
(A) 京都らしい文化プログラム
式典やレセプション等における、舞、和太鼓、茶道、着物着付、鏡開き等の経費
(B) 京都らしい伝統産業製品及び工房見学・体験費用
参加者等に対して配布する伝統産業製品の購入経費及び工房見学、体験費用
- [補助金額の上限額]
(A) 京都らしい文化プログラム：費用の7割補助(上限30万円)
(B) 京都らしい伝統産業製品及び工房見学・体験費用：費用の全額補助(上限30万円)
※(A)、(B)併用の場合も合計で上限30万円となります。
- [会期] 1日以上開催
※宿泊要件あり。
参加者の7割が原則京都市内での宿泊を伴うこと。(同窓会除く)
- [参加人数]
ミーティング、インセンティブ、国際・国内会議：30名～上限なし
同窓会：100名～上限なし(うち京都市外在住者5割以上)
- [海外参加者要件] なし
- [申請時期] 開催予定日1箇月前

京都府助成金制度

京都府 MICE 助成金制度

京都府域(京都市内除く)で開催されるコンベンション、分科会等に要する経費、京都府域(京都市内除く)で実施されるエクスカージョンツアー催行に要する経費を助成いたします。詳しくは、お問い合わせください。

その他支援制度

京都市ビジターズホスト^(※)活用支援制度

- [対象] 国際会議
- [対象経費] 京都市ビジターズホスト利用に係るガイド料金
- [対象となるプログラム等]
会期中、会期前後に実施されるエクスカージョンツアー
同伴者プログラム
招待者・招待者のご家族など、特別・限定されたツアー
- [会期等条件] 京都府内にて2日以上開催され、対象となる
エクスカージョンが京都市内で開催されること
- [海外参加者要件] 対象事業の参加国数が3カ国以上、参加予定者が50名以上
- [助成金額上限] 国際会議規模 50名～200名：3万円までの実費
国際会議規模 201名～500名：5万円までの実費
国際会議規模 501名以上：10万円までの実費
- [申請時期] 開催予定日1箇月前

(※)「京都市ビジターズホスト」とは…

京都市に特化した深い知識と専門性、おもてなしの心と魅力ある人柄、まさに「京都品質」を備えた通訳ガイドのスペシャリストが、京都市ビジターズホスト(KVH)です。

MICEサポートサービスのご案内

Meeting (ミーティング)

企業のミーティング等

Incentive (インセンティブ)

企業が従業員の表彰や研修などの目的で実施する旅行等

Convention (コンベンション)

国際団体、学会、協会等が主催する総会、学術会議等

Event/Exhibition

(イベント/エキシビジョン)
文化イベント、展示会、スポーツイベント、見本市

誘致中～開催中までのサポート

◆各種助成金制度の活用

国際会議からミーティング、インセンティブまで、MICEのイベントタイプ、規模にあわせた助成金制度や、イベント記念品、通訳ガイドなどの費用を補助する制度など、様々な助成金制度をご用意しております。

◆京都PR映像の貸出

3パターンのイメージ映像から、用途に合わせた使用が可能です。

◆京都の写真画像の貸出

会議ウェブサイト、会議案内チラシ、プログラム等に活用できる京都の写真画像を貸出します。

『京都イメージバンク』

<https://kyoto-imagebank.com/ja>

開催決定前のサポート

1 誘致用京都 PR ツールの提供

絵はがき、舞妓ピンバッジなどの誘致用 PR グッズを提供いたします。



2 京都 PR バナーの貸出

京都開催を PR するためのバナースタンド一式を貸出いたします。



3 コンベンション主催者の視察受入れ支援

4 ビッドペーパー、プレゼン資料の作成支援

開催決定後のサポート

1 便利な観光地図、ガイドブックを提供

会議参加者用として、観光地図・観光ガイドブックをご用意しております。



2 お得な地下鉄・市バス一日乗車券の発売

通常 1,200 円の地下鉄・市バス共通 1 日乗車券が破格の 700 円で購入いただけます。フリーデザインも可能！

3 ユニークなレセプション会場の案内

京都らしい施設・会場をご紹介します！

4 府市民向け公開講座の広報支援

府市民向け公開講座を開催されるにあたり、広報に協力いたします。(チラシの配架協力)

その他、MICEの誘致・開催のための様々なアドバイスやサポートを行っておりますので、お気軽に京都文化交流コンベンションビューローまでご連絡ください。



Kyoto Convention & Visitors Bureau

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル 5 階
TEL: 075-212-4140 e-mail: kyoto@hellokcb.or.jp

<https://meetkyoto.jp>

meetkyoto.jp

検索

(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

主な事業内容

国際観光コンベンション事業(公益目的事業)

国際観光(インバウンド)事業

■ 重点市場に於けるインバウンドマーケティング事業

ニューヨーク、台北、ソウル、上海、シドニー、パリ、ロンドン、フランクフルト、香港、ドバイ、クアラルンプールに拠点レップ窓口を設置し、下記のマーケティング活動を年間通じて実施。

- ・現地メディアに対する京都観光 PR などの情報発信
- ・現地の旅行動向・関心・方向性等を探る情報収集
- ・現地セールスコール時のサポート等
- ・隔月及び年次報告書の提出、現地市場に関する説明会等への参加
- ・SNS 発信、メディア招請にあたってのサポート等

■ 特定市場/ターゲットに対するインバウンドマーケティング事業

- ① 海外富裕層市場への取組事業
- ② 新規市場への取組
- ③ 京都市域内統計収集・分析強化

■ プロモーション・情報発信事業

- ① ウェブサイトの集客向上
- ② Facebook・Instagram ページの運用事業
- ③ トリップアドバイザー・バイドゥなど外部サイトとの連携事業
- ④ 海外メディア取材誘致・露出強化事業
- ⑤ 海外旅行商談会出展・海外セールスコール事業
- ⑥ 海外バイヤー招聘・マッチング事業

コンベンション(MICE)事業

■ MICE 関連情報の調査・収集・啓発

- ① 業界情報収集強化
- ② 大学・学術団体・学会へのコンベンション情報収集・啓発活動の強化
- ③ 統計調査・発行
- ④ MICE 振興に関わる課題解決策の推進
- ⑤ 「KYOTO スマートシティエキスポ」への事業協力等を含めた関西文化学術研究都市推進への参画

■ プロモーション事業

- ① 内外ネットワーク(情報収集力)の強化
- ② 政府関連特定会議等の誘致活動
- ③ 海外プロモーション活動
- ④ 国内プロモーション活動
- ⑤ MICE 主催者等の京都視察受入れ
- ⑥ 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

■ 開催支援事業

- ① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力
- ② MICE 開催支援に係る京都市の助成制度活用
- ③ 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用
- ④ オフサイト・レセプション等の企画・提案
- ④ 各種開催支援サービス制度の運用及び拡充

■ 広報宣伝事業

- ① ホームページによる京都における MICE 関連情報の発信
- ② 国内外の MICE 専門誌等への情報提供及び取材活動への支援
- ③ 広報発表等を通じた MICE 振興の意義や効果などの関係業界・府市民への啓発

文化交流発信事業(公益目的事業)

古典の日推進事業

■ 古典の日推進事業

- ① 「古典の日」普及啓発事業
- ② 「古典の日フォーラム」の開催
- ③ 「古典の日朗読コンテスト」の開催
- ④ 「古典の日」に関する大茶会の開催

■ 情報発信・広報活動・関係団体との連携等

- ① ホームページによる「古典の広場」の開設
- ② ポスターおよびパンフレット作成等

文化発信事業

■ 京都迎賓館支援事業

- ① 外国賓客のもてなし
- ② 参観支援・啓発関連(講演会など文化発信事業)

■ 京都創生推進フォーラム事業

- ① 「京都創生推進フォーラム(シンポジウム)」の開催
- ② 「京都創生連続セミナー」の開催
- ③ 京都創生広報事業(ポスター作成等)

■ 京都デジタルミュージアム「京都見聞録」活用事業(全8作品)

- ① 会議場・ホテル等集客施設での上映
- ② 会議主催者や団体等への貸出し

■ 情報誌「四季彩京都」の発行(年2回)

共益・収益事業

■ 賛助会員制度の運営

- ① 新規勧誘の促進
- ② 会員に対する情報提供
- ③ 会員の集いの開催

■ 「京都文化振興友の会」の運営

■ 京都迎賓館記念品の企画・販売

その他の事業(公益目的事業)

■ ホームページの運用事業

■ 会報誌「コンベンションビューロー通信」の発行(年4回発行)

■ 関係団体との連携等

「京の七夕」、「時代祭」、「京都花灯路」など オール京都事業への参画

概 要

【2017年4月1日時点】

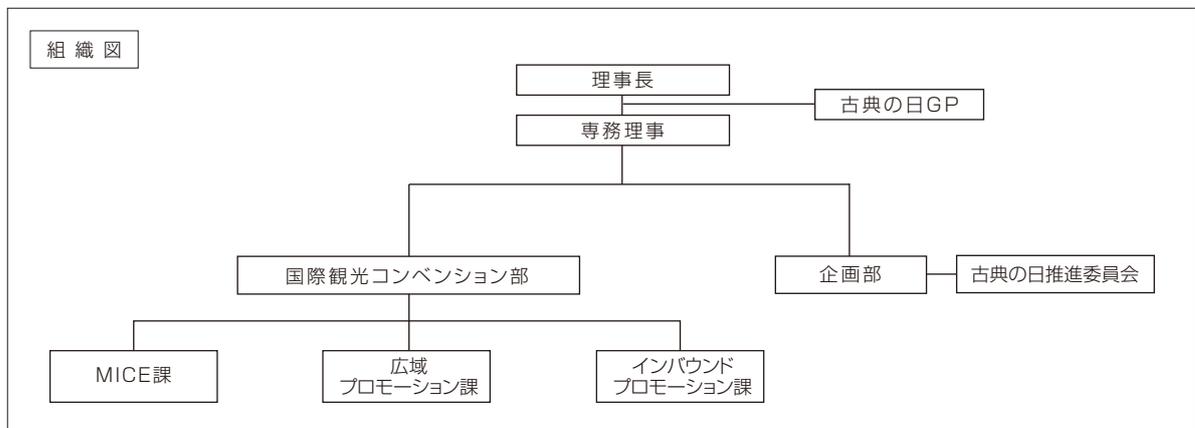
- 1 名 称 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
- 2 所 在 地 京都市中京区烏丸夷川上ル少将井町240番地 京都商工会議所5階
- 3 設 立 平成19年1月9日
※平成23年10月3日付で公益財団法人へ移行登記
- 4 目 的 文化・芸術の普及向上に努めるとともに、国内外のコンベンション誘致及び賓客等の入洛を促すことにより、京都文化を広く世界に発信し、国際的な交流拠点としての「京都」の魅力をより一層高め、活力あふれる新たな「京都」の創造に寄与する。
- 5 事業概要 (1) 京都の文化・芸術等のための事業推進と府内外への情報発信
(2) コンベンション等の誘致及び賓客・海外観光客の招聘、入洛のための事業推進
(3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

6 組 織

- (1) 役員等
 - 名誉顧問 千 玄室 (茶道裏千家大宗匠)
 - 顧 問 山田 啓二 (京都府知事)
 - 門川 大作 (京都市長)
 - 評議員会長 柏原 康夫 (京都府観光連盟会長・京都市観光協会会長)
 - 評 議 員 10名 (産業・経済・文化・学術・行政等公的団体)
 - 理 事 長 村田 純一 (京都商工会議所名誉会頭)
 - 専務理事 山内 秀顕 (京都文化交流コンベンションビューロー)
 - 理 事 14名
 - 監 事 中村 健児 (京都銀行協会専務理事)
 - 佐近 大祐 (京都府信用金庫協会)

(2) 賛助会員数 398 会員(企業 / 団体)

(3) 事 務 局



2016 京都開催の国際会議冊子

平成 29 年 6 月発行

編集・発行：

公益財団法人

京都文化交流コンベンションビューロー

〒604-0862

京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル 5 階

TEL: 075-212-4140

FAX: 075-212-4121

e-mail: toukei@hellokcb.or.jp

URL: meetkyoto.jp



Kyoto Convention & Visitors Bureau

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5階
[TEL] 075-212-4140 [e-mail] kyoto@hellokcb.or.jp

<https://meetkyoto.jp>

検索

